



Q 1 ご所属の専攻（修了生は在学中の専攻）

Q 2 現在のお立場

Q 3 R T 事業（Research Training事業 平成22年度実施）についてお聞きします

1-a 応募の有無

応募した

応募しなかった

1-b 応募された方にお聞きします

1-b-1 応募回数

1-b-2 国内外の別（国内 回、海外 回）

1-b-3 応募の内容（複数回答可）

調査活動

学会発表

1- c 応募されなかった方にお聞きします

1- c -1 応募しなかった理由

研究上必要ない

他の経費（葉山本部・専攻内など）を用いた

手続きが煩雑である

その他

1- d 本事業の必要度

かなり高い

やや高い

ふつう

やや低い

かなり低い

わからない

1- e 今後への要望など、本事業について自由にご記入ください

Q 4 学術交流フォーラム（平成22年度実施）についてお聞きします

1- a 参加の有無

参加した

参加しなかった

1-b 参加された方にお聞きします。どのような立場で参加されましたか（複数回答可）

口頭発表

ポスター発表

パネリスト

委員・スタッフ

その他

1-c 参加されなかった方に、その理由についてお聞きします（複数回答可）

時間的に余裕がない

2（1.5）日は長すぎる

内容に魅力が乏しい

雰囲気が親しみにくい

その他

1-d 本事業の必要度

かなり高い

やや高い

ふつう

やや低い

かなり低い

わからない

1-e 今後への要望など、本事業について自由にご記入ください

Q 5 「総研大文化科学研究」(年刊)についてお聞きします

1-a 活用度・認知度

よく読む
時々読む
目次は見る
ほとんど読まない
全く読まない
知らない

1-b 収録論文などの水準

かなり高い
比較的高い
ふつう
比較的低い
かなり低い
わからない

1-c 投稿・採択

1-c-1 これまで本誌に投稿されたことがありますか

ある
ない

1-c-2 「ある」と答えた方にお聞きします

投稿回数（採択・不採択を問わない。投稿中を含む）

1-c-3 「ない」と答えた方に、その理由をお聞きします（複数回答可）


投稿の機会がなかった
よりふさわしい媒体が他にある
掲載手続きが煩雑である
その他

1-d 本事業の必要度

かなり高い
やや高い
ふつう
やや低い
かなり低い
わからない

1-e 今後への要望など、本事業について自由にご記入ください

Q 6 事業全般について、今後の必要性・方向性など、ご意見を自由にお書きください。

 リセット

 調査票編集に戻る